

FOS 報告書 (2025/1/18)

Harvard University SEAS Bioengineering PhD

河井理雄

mail:michio_kawai@g.harvard.edu

1. はじめに

渡米してから二度目の冬になりました。今年は諸々の用事があり年末年始は久しぶりに長めに帰省しました。悪天候で経由地のモントリオールに宿泊させられたりETAの期限切れでボストンに帰れなかったり色々ありましたが現在無事に帰ってきたところです。今回の帰省ではアカデミア内外の知り合いと近況報告ができたり、東大の研究室で少しトークをしたり有意義に過ごすことができました。飛行機での長時間移動はあまり得意ではありませんが、今後もできる限り頻繁に帰るようしようと思います。

2. 生活

家を無くしたり、夜道を歩いていたら車から生卵をぶつけられたりしていました。こう書くともあまり楽しくなさそうかもしれませんがとても楽しくアメリカ生活をしています。他にもっと楽しいイベントが色々あったはずですが、この二つが衝撃的すぎてどうしても最初に思い出してしまいます。

一年目に住んでいた寮を出て、今年度は賃貸を借りて暮らし始めました。家がラボから近くなったのと自由に自炊ができることはとても嬉しいのですが、やはり家賃(1250\$+光熱費 / month)には不満があるので来年度からはまた寮に戻るかもしれません。

ラボや学科の友人のチームで Intramural league というハーバード大学院生限定のバスケットボールリーグ戦に参加しました。バスケの真剣な試合をほぼやったことがなく、バ

スケ経験者である MIT の FOS 同期白川くん
に試合中どこやっていたらいいか聞いたところ「ゴール下じゃね?でかいし」と全然真剣に考えてなさそうな顔で言われ、素直に従っていたら MBA 選手みたいなサイズのアメリカ人たちに交通事故みたいな吹っ飛ばされ方をしました。白川くんのことを少しだけ恨んでいます。

3. 研究

アメリカに来てから始めたテーマは順調に進んでいるかと思います。前回の報告書を書いているあたりでは問題が複数出ていて焦っていたのですが、この半年あくせく働いていたら諸々解決し、何とかなる状況まで持ってくることができました。とはいえまだまだ集めなきゃいけないデータは多く、レビュー期間も長くなると思うので公開できるのは2026年になるかなと思っています。

最近になって少しだけ厄介なのが自分の研究について教授が求めているストーリーラインと自分がやりたいストーリーラインが食い違っていて、めんどろな議論になることがあります。百戦錬磨のハーバード教授の指示だし素直に従っておけと思われるかもしれませんが、ボスやラボ自体にとって良い結果をもたらす方針と研究を行う本人に良い結果をもたらす方針が食い違うことが時々あると思っています。私の件はそのケースだと思っています。こう言う時教授に給料をもらっていると立場が弱いのですが、船井財団様に給料をいただいている良かったなと切に思います。な

るべく殺生与奪を握られないようにして生きて行きたいです。

日本にいた時に行っていた研究を元に申請していた特許(特開2021-078494)がつい最近特許査定されました。主には培養したヒトの皮膚を立体表面に構築できる技術で、化粧品モデルや生理学研究モデルへの活用を期待しています。今までかなり長い間審査中となっていて、特許庁にいる旧友が「お前の特許絶対落とすわ」とふざけたことを言っていたので名指しでクレーム入れてクビにさせようと思いましたがが無事に通ったようでよかったです。今のところは自分で起業などの考えもないためライセンス先を探していますが、色々とうまく行って私をお金持ちにしてくれたら嬉しいです。

4. その他

去年夏に出した論文についてその後色々反響があって嬉しいです。前に大きい論文を出した時は連絡や取材は全て所属研究室の教授に来ていたのですが、今回は自分個人にも結構連絡が来てくれていて、ちょっとだけ名前が売れたのかもしれない。(正直どちらかと言うと所属が Harvard University に変わった事が一番効いている気がします)。中でもオーストラリアのジャーナリストから、自分の今までの研究を含めた皮膚の研究について本を作りたいと言う連絡があり、今取材など諸々のやりとりをしています。楽しみにしています。

私事ですがこの冬婚約し、夏に結婚することになりました。今年は(というか今後は)より頻繁に日本に帰ろうと思っていて、公私共に忙しい一年になりそうですが、より一層頑張っていこうと思います。

スペースが余ったのでこの半年の写真を貼ります。



Figure 1: クリスマスパティー



Figure 2: ラボの年末パーティー



Figure 3: UCLA から遊びに来てくれた友人。ボストンは行くところがなくてつまらないらしい。